



丹沢の北にある道志山塊の東の端にある山である。昨年5月に亡くなった今村隆一君と3月に登った赤鞍ヶ岳から巖道峠への道の延長線上にある。この巖道峠から更に東へ行ったところにある山である。まいたびの靴マークは3になっているが、登り始めが470mであるからそれほどきつくはないであろうと思っていた。まあその通りになった。最初から最後まで雨であった。午前中は霧雨程度であったが、午後からは少し雨脚も強くなったがたいしたことは無かった。風も無かったのは良かった。万歩計は26,565歩で距離はそこそこあったが、急登は続いてもせいぜい20分程度であったり、山頂からはゆるい登り降りが続いたので気分良く歩けた。

新型コロナウイルス問題で人が集まるようなことは自粛せよとの政府からの要請にもかかわらず、ノ一天気登山者はいるもので、ジジイ4名にババア8名が集まった。まあ世間の流れに逆らう輩が居たっていいじゃないか。12名ということはいつもと比べると少ないので、ウィルスと天候悪化でキャンセルもあったのであろう。ツアーリーダーはかつて高年新人だった宮崎さん。彼ももうまいたびのベテランガイドになってきた。サブは新人女性の岡田さん。二人とも厳重にマスクをしていた。岡田さんはもしかしたらケッコウ美人かなと思われたが、素顔を見たのはほんの一瞬であったので良くは解らなかった。まいたびも女性ガイドの採用に際して容姿を条件にするようになったのかも知れない。宮崎さんの話では、ガイドは原則二人として更にカタログにはあらかじめガイド名を公表して、顧客増加のために色々工夫を凝らしているみたいだ。

ところで今回の写真はスマホで撮ったものである。今まではデジカメであった。6年くらい使って古くなったので買い換えようと思ってビッグカメラに行ったら、コンパクトデジカメのコーナーなんてほんの少ししかない。デジカメも主に一眼レフなどに重点が置かれている。カメラメーカーもすでにコンパクトデジカメへの期待は無くしているのであろう。最近では山頂で記念写真を撮るときもスマホで撮る人がほとんどである。我々の年代にとってはフィルムカメラからデジカメへの移行というものは歴史の変換点であったのであるが、それも変わってしまった。そんなことで私もスマホにしたわけである。実はスマホには3年くらい前に切り替えたことがある。しかし月額使用料金が7,000円以上になり、ガラ系の時は2,000円前後であったので、これはたまらないやと思ってガラ系に戻ってしまったという経緯がある。また来月から月額使用料は上がるのは憂鬱であるが我慢しなければならない。外で飲む回数が一回減るかなあ。そういえば今使っているデスクトップのパソコンも売り場面積が少なくなっている。ノートパソコンはCRTの幅を大きくするなどとして抵抗する姿勢を示しているがどこまで続くか。パソコンすらスマホに牛耳られてきたみたいだ。世の中の軽薄化につながるような気がするが、こっちが年取ったとされるのが落ちだろうな。